

不知火、せとかを接いだハッサク

じていません。

スダチに接いだ
不知火は酸っぱい？

さらに面白半分で不知火をハッサクだけでなくレモンやネーブルオレンジ、スタチにも接ぎました。すると、不思議なことに台木によつて味に違い

台木によつて 接ぎ木は楽しい

台木によつて不知火の味が変わる?!

ようか。近所の人もかつて庭先に1、2本植えていましたが、もう切つてしまい残つております。

接ぎ木に興味がありいろいろな種類のカキが食べたかったので、まずは近所の家にあった「似たり柿」を高接ぎ。そしてこの地域特有の「筆柿」、「太秋」、「西村早生」と種類を増やしていました。7~8年経った今では、どの種類もたくさん実をつけます。

甘柿といつてもどのカキも特徴があります。10月初めは西村早生が食べ頃。続いて兵左衛門、似たり柿、少しおいて筆柿、太秋と続き、11月中旬まで収穫することができます。太秋は収穫して時間が経つてもやわらかくなりにくく、12月に入つても食べられます。

兵左衛門は実が真っ黒で一番甘い。

似たり柿もとても甘く、西村早生と筆柿はすつきりした甘さ。この4種類の果肉にはどれも茶色い斑点が入つてます。兵左衛門と筆柿は食べ頃を過ぎると実から斑点が抜けて渋みが出てくるので食べる時期を逃してはいけません。太秋は品のよい甘さ。生ハムを巻いて食べると一層おいしい。毎年秋は、カキの実を頬張っては楽しんでいます。

(長野県飯田市)

あちこちのハツサクに接ぎ木

3年前に25年間勤めた福祉施設を退職後、カンキツと野菜を20aずつ栽培

サクの樹が大きな被害を受けたことで、90本中40本が傷み、十数本は倒れて地上に根が出て、樹が次第に弱り、果実もあまり成らなくなりました。

サクの樹が大きな被害を受けたことで、90本中40本が傷み、十数本は倒れて地上に根が出て、樹が次第に弱り、果实もあまり成らなくなりました。樹に支柱をしたり、強せん定をしたり、腐り止めの薬を塗つたりし、手入れをしました。枯れたものもありました。

30度くらい傾いたまま果実をつけていました。樹は「ありがとう」とは言わなけれど、手当てに応えてくれていいのかと思いました。

そういうつた樹の枝に不知火、ポンカン、はるみを高接ぎしました。あくる年、大きさ、形、色のいい実が2~3

ちごちの枝に接いでいきました。
今までに20本近いハツサクに3種類
前後の接ぎ木をしました。元気なハツ
サクには不知火、ポンカン、はるみだ
けでなく、せとかも接ぎました。一番
多く接いだのは不知火で、今ではコン
テナ7箱分とれます。はるみ、ポンカ

の同僚にどうぞお分けし、余つた分は直売所に出荷しています。

A close-up photograph of a hand holding a large, ripe yellow citrus fruit, likely a lemon or lime, against a background of green leaves and other citrus fruits on a tree. The fruit is bright yellow with some green at the stem and a few small leaves attached. The hand is visible at the bottom, gripping the fruit. In the background, more citrus fruits are hanging from the branches, some partially obscured by leaves.



麗和は花芽の着生が多く、花弁は白色八重咲き。花粉発芽能力を有する



果実に占める核の重さは和郷が5%程度、南高は8~10%。麗和は7%程度

大玉では自家不和合性が多い
ウメの主要品種である「南高」と「白加賀」はいずれも自家不和合性で、結実するためには受粉樹が必要で、
「の」のようない状況では、自家和合性品種により解決が期待されます。しかし從来の自家和合性品種は果実重が10g以下の大玉のウメとされる30g以上の品種は少ない状況でした。

また、30g以上になる従来の品種では果実の成熟が進むと「ヤニ果」と呼ばれる生理障害が発生しやすく、ゼリヤニ果の少ない大玉果を収穫することができます。また、両品種とも開花期

が出たのです。あくまで私が接いだ樹の場合ですが、以下に違いを紹介します。

- ・ハツサク台木……酸が少なくいい味。樹に元気があるからか、玉が大きく皮が薄い。試したなかでは一番相性がよいと感じる。トゲがないため手入れがしやすいのもうれしい。
- ・スダチ台木……少し酸味が強い。トゲがたくさんあるので接ぎ木、摘果、その他の作業がしにくい。カン難しい。
- ・ネーブル台木……立派な大きさの実ができるが甘みは少ない。

・スダチ台木……少し酸味が強い。トゲがたくさんあるので接ぎ木、摘果、その他の作業がしにくい。カン難しい。

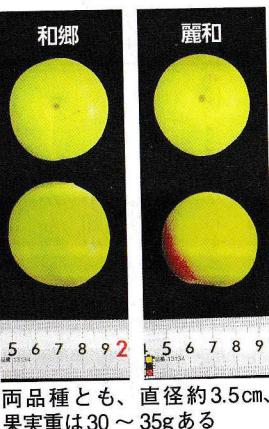
- ・レモン台木……立派な大きさの実ができるが甘みは少ない。
- ・スダチ台木……少し酸味が強い。トゲがたくさんあるので接ぎ木、摘果、その他の作業がしにくい。カン難しい。

キツ専業の人に笑われるかもしれません。が、「みんなにおいしいといつてももらえるのを楽しみに、あれこれ接ぎ木をして味を確かめています。

(徳島県美馬市)

ウメ 「麗和」「和郷」 庭先に1本ができる大玉品種

八重垣英明



(214)

す。しかし、ウメの開花期は品種により差が大きく、さらに「白加賀」のように花粉がなかつたり、あつても発芽能力のない品種も多く、受粉樹の選定は難しいです。適切な受粉樹を植えて

も開花期の早い年は訪花昆虫の活動が低下して、結実不良となる年も多くなっています。

一状の樹脂が出てしまう品種も多いです。これらは未熟な青ウメの状態で収穫して梅酒、梅ジュース、カリカリ梅などに利用するのが中心でした。

さらに、「麗和」の花は白色八重咲きで、白色一重咲きがほとんどである実ウメ品種と比べて特徴があります。庭先で花も楽しめ、直売所で枝物販売することも可能です。「和郷」は果実重に占める核重の割合が5%程度と他の主要品種よりかなり低いため、果肉が多くお得感があります。

両品種とも果実は、梅酒、梅ジュースの他、梅干し加工も可能です。ただし、両品種とも成熟果の落果が始まると、「南高」に比べると果皮や果肉が硬い傾向があり、梅干しにして硬く感じるときがあります。

「麗和」「和郷」とともに、2021年秋季より苗木が販売される予定です。

(農研機構・果樹茶業研究部)